

経理部 事業報告

経理部長 福留 健

1 公益法人会計基準への適応化、使用するソフトの導入

現在の財務諸表が公益法人会計基準に適応していないことから、その基準に適応させるために、新たな会計ソフトを導入した。今までの会計ソフトと比べて年間使用料、バージョンアップ費用等大幅なコストダウンに成功した。職員が利用に慣れてきた場合、作業時間も短縮されるだろう。

会計ソフトの変更に伴い、書式も変わることになるため、会員にも新たな書式に慣れていただく必要がある。

2 一般会計と特別会計の分離

昨年度まで、本会の会計においては、一般会計と特別会計が混在していたが、本年度から新たに特別会計を設けることとなった。

具体的には、「会館建設特別会計」「災害対策特別会計」である。

3 出張旅費等の支給方法の変更

出張旅費等の支給方法については、事前に現金を用意して会議等への参加者に対してその都度手渡すこと（現金手渡方式）が慣例となっていたが、管理上の面、及び事務作業量の面から、現状の方式には問題点が少なくなかった。

この点につき、本年度から、半年に1回の支給に変更した。